

令和2年度公益財団法人山梨県国際交流協会 事業報告

事業概要

外国人住民との「多文化共生」の重要性が一層高まるなかで、社会情勢の変化を踏まえ、市町村や市町村国際交流協会、地域の大学など関係団体との連携・協働を重視しながら、地域レベルの国際化を推進する中核的な組織として、国際交流、国際協力、多文化共生など様々な事業を展開した。

事業実施状況

1 会議開催状況

- (1) 理事会 3回 令和2年5月20日(書面)、令和2年6月9日(書面)、令和3年3月18日
- (2) 評議員会 1回 令和2年6月9日(書面)

2 多文化共生の社会づくりに関する事業

(1) 情報収集提供事業

① 協会機関誌「YIA Newsletter」の発行

- ・発行時期: 季刊(6月、10月、2月の年3回)
- ・発行部数: 2,000部/回
- ・配布先: 会員、各市町村、国際交流関係団体、ハローワーク、各大学、各警察署等

② ホームページの管理・運営

協会主催事業をはじめ、外国人住民の生活に役立つ情報や、様々な国際交流情報をやさしい日本語や多言語で発信するホームページの管理・運営を行った。

③ 国際関係書籍等の整備

国際的な分野での活動等に関心を持つ県民のニーズに応えるための書籍等の整備を行い、日本語教材及び指導者向け図書の充実を図った。

- ・場 所: 国際交流センター 1階ロビー「書籍コーナー」

④ 各種情報提供

- ・当協会からの情報提供をはじめ、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する有益な情報を収集し、「フェイスブック」等のSNSやHPで情報発信した。
- ・山梨日日新聞の4か国語版「ウィークリーニュース山梨」に協会の事業等を毎週掲載した。
- ・当協会事業等を広報するため、報道機関に情報提供を行った。

⑤ パネル展の開催

主催事業に関するパネルやポスターを展示するとともに、JICA 等関係団体の活動を紹介するパネル展を開催した。

「山梨県内における JICA 事業紹介パネル展」

- ・実施時期: 令和2年9月16日～10月16日

- ・場 所: 国際交流センター 1階ロビー

⑥ ボランティアボード等の設置

センター利用者の情報交換及び情報提供の場とし、「何でもボード」及び「ボランティアボード」を設置した。

- ・実施時期: 通年

- ・場 所: 国際交流センター 1階ロビー

⑦ 協会設立30周年記念誌の発行

協会設立30周年を記念して、20周年以降の協会の歩みと今後の展望などを記載した記念誌を発行した。

・発行部数:2,000部

(2) 相談事業

① 国際交流相談

外国人住民からの生活相談や、県民からの国際交流・協力活動等に係る相談に協会職員が対応した。

② 法律相談

外国人住民を対象に、弁護士による生活や労働問題などに関する相談会を実施した。

・実施時期:第1水曜日(夜)、第3日曜日(午後)

・場 所:国際交流センター 2階

・件 数:22件

③ 地域出張法律相談

市町村と連携して地域で相談会を開催した。

・実施時期:令和2年12月20日

・場 所:中央市田富総合会館

・件 数:4件

④ やまなし外国人相談センター

外国人住民の生活に関わる様々な事柄について、情報提供及び相談を行う一元的な窓口の運営を行った。

・開設時期:令和元年8月1日

・場 所:国際交流センター 2階

・実施日時:火曜日～土曜日(祝日及び12月29日～1月3日は除く。)

9:00～16:00

・相談実績:273件

(3) 人材育成事業

① 災害時外国人支援セミナー

災害時の外国人被災者支援に必要な通訳・翻訳ボランティア人材の育成や、災害多言語支援センターの設置・運営等に関するセミナーを開催した。

・実施時期:令和2年10月3日

・内 容:「災害時における外国人支援」(オンライン講義)

「災害多言語支援センター」設置・運営訓練

・場 所:国際交流センター 大会議室

・参加者数:5ヶ国20名

② 医療通訳ボランティアセミナー

医療機関において日本語での意思疎通が困難な外国人支援を目的として、医療に関する通訳ボランティアを育成するためのセミナーを開催した。

・実施時期:令和3年3月13日

・内 容:講義「医療通訳基礎講座」「医療講座」「医療通訳講座」

ロールプレイ「基本ロールプレイ」「ステップアップロールプレイ」

・開催方法:オンラインによる開催

・参加者数:51名

③ 初級日本語講座

県内の外国人住民を対象に、日常生活に必要なコミュニケーションを中心とした日本語講座を開催した。

- ・実施時期:毎週金曜日(夜)、日曜日(午前) 通年開講
- ・場 所:国際交流センター 小会議室
- ・参加者数:延べ500名(22ヶ国)

④ 資格取得日本語講座

日本語能力試験N3取得に意欲を持つ外国人住民を対象に講座を開催した。

- ・実施時期:令和2年9月～12月 全14回
- ・場 所:国際交流センター 小会議室
- ・講 師:山梨日本語ボランティアの会会員
- ・参加者数:延べ98名

⑤ 外国語講座

外国語習得を目指す県民向けに少人数制の語学講座を開催した。

- ・実施時期:令和2年9月～12月
- ・場 所:国際交流センター 小会議室
- ・講座内容:英会話(入門、初級、中級)、フランス語、イタリア語、スペイン語、英語力アップ講座、留学体験講座
- ・講 師:外部講師
- ・参加者数:延べ750名

⑥ 外国文化講座

様々な国の芸術、音楽、料理、生活などを紹介し、異文化理解を深めるための講座を開催した。

- ・実施時期:令和2年9月～10月
- ・場 所:国際交流センター 小会議室
- ・講座内容:アイリッシュ・カルチャー、食文化に触れる講座、異文化理解講座等
- ・講 師:外部講師
- ・参加者数:延べ110名

(4) 多文化共生推進事業

① 外国人住民防災力向上事業

市町村、市町村国際交流協会、県内大学等と協力し、地域の一員である外国人住民が災害弱者にならないための防災教室を実施した。

- ・実施時期:令和2年10月15日
- ・場 所:学校法人大原学園
- ・参加者数:4ヶ国24名(共催:甲府市、学校法人大原学園)

② 多文化共生コーディネーターの設置運営

市町村や関係機関が連携して効果的に外国人住民に対する支援を行うためのコーディネーターを設置し、業務を実施した。

- ・設置人数:1名
- ・場 所:国際交流センター 2階

③ 国際交流センター利用者のための防災訓練

国際交流センター利用者(入居者、来館者等)を対象として、地震・火災等の災害発生時を想定した避難訓練を実施した。

- ・実施時期:令和3年3月26日
- ・場 所:国際交流センター 全館、駐車場
- ・参加者数:10名

3 国際交流に関する事業

(1) 国際親善交流事業

① ワールド・チャリティー・クリスマス

チャリティーを目的として、世界の様々な音楽や民族舞踊の発表、外国料理の紹介などを行うクリスマスイベントを開催し、その収益を国際協力団体等に寄付することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

② 中国四川省訪問団派遣事業(協会設立30周年記念事業)

県民の国際交流を推進するため、本県と四川省との友好県省締結35周年記念式典への参加や、かつて来県した海外技術研修員や留学生、自治体職員協力交流員との交流を目的とした訪問団を派遣することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度へ延期した。

(2) 国際交流推進事業

① 国際関係団体等連携事業

「やまなし国際ナショナルネットワーク (YIN)」などと連携し事業を実施することにより、国際感覚豊かな人づくりや世界に開かれた山梨の実現のための国際交流・国際協力活動を行った。

- ・参加団体:33団体
- ・定期総会:令和2年7月8日(書面決議)
- ・運営委員会:3回(うち2回は書面決議)
- ・実施事業:助成金交付事業(2団体の活動に助成)

新春多文化交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

② 市町村国際交流協会等連絡会の開催

ア 連絡会の開催

市町村や市町村国際交流協会の職員を対象に、「新型コロナ感染症の影響下における外国人住民の現状と日常的な外国人支援のポイント」と題し、研修会を開催するとともに、各団体が抱える課題と対応策について意見交換を行った。

- ・実施時期:令和2年7月22日
- ・場 所:国際交流センター 大会議室
- ・参加者数:30名

イ 研修助成の実施

市町村職員に、多文化共生や災害時の外国人支援について理解を深め知見を得ていただくため、全国市町村国際文化研修所(JIAM)への研修助成を行った。

- ・助成対象人数:2名(富士吉田市、笛吹市)

③ 県立国際交流センター管理事業

県民に国際交流活動等の機会と場を提供することを目的として設置された「山梨県立国際交流センター」の指定管理者として、施設全体の管理運営を行った。

- ・施設・設備の維持管理、清掃業務、夜間警備、保守点検、駐車場管理 等
- ・会議室の利用承認及び会議室・宿泊室の使用料徴収

利用件数 1,550件(前年 1,800件)(対前年比 13.9%減)

利用者数 12,004名(前年 22,587名)(対前年比 46.9%減)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4~5月の間、会議室の利用を中止した。

4 国際協力に関する事業

(1) 国際協力推進事業

① 国際交流人材バンクの運営

市町村や団体からの国際交流や国際理解、多文化共生などに関する様々な依頼に応じ、外国語人材、国際交流・国際協力人材、多文化共生支援人材に関するボランティアの登録とその利用に伴う連絡調整を行った。

- ・登録者数:外国語人材 延べ172名
国際交流・国際協力人材 延べ74名
多文化共生支援人材 延べ107名

・利用件数:17件(通訳・翻訳)

② 海外技術研修員等受入事業

国際交流センターの宿泊施設で生活する海外技術研修員及び外国人留学生等に対し、生活面での指導や日本語習得に向けた研修などを行うとともに、協会主催事業への参加等を通して、当センターでの生活面における支援を行った。

・実施時期:通年

・場 所:国際交流センター 3・4階

・センター入居者への生活指導

留学生	7名(インドネシア2名、中国4名、タイ1名)
国際交流員	1名(オーストラリア1名)
派遣職員	1名(中国1名)

③ グローバル支援事業

年間を通して募金活動を行い、集まった募金等とワールド・チャリティー・クリスマスの収益金を合わせ、国際的な支援活動を行う団体等への寄付を通じて、開発途上国の教育や医療レベルの向上、激甚災害等により被災した地域の人々の支援などに役立てることとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためワールド・チャリティー・クリスマスを中止したことに伴い、事業は実施しなかった。

5 国際理解に関する事業

(1) 国際理解促進事業

① 協会設立30周年記念式典、講演会の開催

ア 協会設立30周年記念式典の開催

協会設立30周年を祝う記念式典を開催し、協会の発展のため長年にわたり多大なご尽力をいただいた方々に感謝状を贈呈した。

・実施時期:令和2年11月18日

・場 所:国際交流センター 大会議室

・参加者数:約30名

イ 国際理解講演会の開催

国際交流、国際協力等に関する理解促進を図るため、国際分野で活躍する著名な講師による講演会を開催した。

・実施時期:令和2年11月18日～12月18日

・開催方法:オンラインによる開催

・講 師:萩谷順(ジャーナリスト、法政大学名誉教授)

・テ ー マ:「激動する国際情勢と日本の将来」

・視聴回数:約100回

② やまなしYIA国際塾

国際感覚豊かな人材を育成するため、海外留学、国際理解、国際協力などに関するセミナーや国際協力支援団体の施設訪問などを実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナーはフードロス問題を扱う映画上映会に変更するとともに、施設訪問は中止した。

ア 映画上映会 (JICA横浜との共催)

・実施時期: 令和2年12月6日

・場 所: 国際交流センター 大会議室

・内 容: 映画「0円キッチン」上映

JICA山梨デスク講演「世界と私たち～SGDsを通して考える～」

・参加者数: 23名

③ 国際交流・国際理解のための高校生の主張大会

国際交流、国際協力に対する理解促進を目的として、高校生による弁論大会を開催した。

(山梨県高等学校ユネスコ連絡協議会との共催)

・実施時期: 令和2年9月15日

・場 所: 山梨県立図書館、山梨文化会館

・参加者数: 約50名 (うち発表者29名)